

正味財産増減計算書

令和2年7月1日から令和3年6月30日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	192	943	△ 751
特定資産受取利息	192	943	△ 751
受取入金	120,000	50,000	70,000
受取入金	120,000	50,000	70,000
受取会費	4,900,000	5,116,000	△ 216,000
受取会費	4,900,000	5,116,000	△ 216,000
事業収益	176,453,406	251,802,211	△ 75,348,805
嘱託登記事業収益	176,453,406	251,802,211	△ 75,348,805
雑収益	123,073	931,992	△ 808,919
受取利息	438	464	△ 26
雑収益	122,635	931,528	△ 808,893
経常収益計	181,596,671	257,901,146	△ 76,304,475
(2) 経常費用			
事業費	173,029,243	236,355,974	△ 63,326,731
役員報酬	403,860	203,750	200,110
退職給付費用	6,025,917	5,941,100	84,817
福利厚生費	263,606	172,447	91,159
旅通運搬費	601,071	584,733	16,338
通信搬	407,662	694,181	△ 286,519
消耗品費	197,169	221,789	△ 24,620
印刷製本費	3,102,677	743,577	2,359,100
印刷製本	103,400	222,800	△ 119,400
貸借料	660,000	766,000	△ 106,000
支払リース料	99,384	100,024	△ 640
保険料	244,440	396,260	△ 151,820
業務処理費	156,779,495	222,345,116	△ 65,565,621
租税公課	147,900	410,056	△ 262,156
研修費	0	30,470	△ 30,470
雑減価償却費	42,262	127,955	△ 85,693
管理費	3,950,400	3,395,716	554,684
役員報酬	10,796,602	15,900,682	△ 5,104,080
役員報酬	701,040	945,780	△ 244,740
退職給付費用	1,630,905	1,607,948	22,957
退職給付費用	71,344	46,673	24,671
福利厚生費	231,180	235,855	△ 4,675
旅通運搬費	161,569	758,023	△ 596,454
通信搬	223,550	891,729	△ 668,179
消耗品費	1,367,889	1,419,286	△ 51,397
印刷製本費	269,622	360,726	△ 91,104
印刷製本	136,100	948,498	△ 812,398
貸借料	660,000	656,000	4,000
支払リース料	99,384	157,576	△ 58,192
保険料	41,700	38,500	3,200
業務処理費	2,699,716	4,940,673	△ 2,240,957
租税公課	1,292,500	1,282,500	10,000
負債担当金	0	15,544	△ 15,544
接待交際金	838,750	1,178,250	△ 339,500
支払利息	0	33,000	△ 33,000
雑減価償却費	0	3,737	△ 3,737
雑減価償却費	196,398	152,546	43,852
雑減価償却費	174,955	227,838	△ 52,883
経常費用計	183,825,845	252,256,656	△ 68,430,811
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,229,174	5,644,490	△ 7,873,664
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,229,174	5,644,490	△ 7,873,664
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,229,174	5,644,490	△ 7,873,664
一般正味財産期首残高	54,264,989	48,620,499	5,644,490
一般正味財産期末残高	52,035,815	54,264,989	△ 2,229,174
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	52,035,815	54,264,989	△ 2,229,174

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	定額法による償却によっている
什器備品	定率法による償却によっている
ソフトウェア	定額法による償却によっている

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 給与規定に基づき定めた支給基準により、設定している

(3) 消費税等の会計処理

税込処理によっている

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	2,629,440	334,950	0	2,964,390
事故対策引当資産	3,700,000	0	0	3,700,000
財務調整積立資産	1,500,000	0	0	1,500,000
減価償却引当資産	1,010,000	0	0	1,010,000
関プロ総会準備引当資産	800,000	0	0	800,000
合計	9,639,440	334,950	0	9,974,390

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
退職給付引当資産	2,964,390	—	—	(2,964,390)
事故対策引当資産	3,700,000	—	(3,700,000)	—
財務調整積立資産	1,500,000	—	(1,500,000)	—
減価償却引当資産	1,010,000	—	(1,010,000)	—
関プロ総会準備引当資産	800,000	—	(800,000)	—
合計	9,974,390	(0)	(7,010,000)	(2,964,390)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	451,500	391,300	60,200
車輛運搬具	1,579,760	584,539	995,221
什器備品	15,578,482	5,996,148	9,582,334
合計	17,609,742	6,971,987	10,637,755